

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	南消防署救急救助活動事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	01	12	04
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	南消防署				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	片瀬 章博				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住者、在勤者等	意図	災害、事故、疾病による傷病者を適切な医療機関に搬送すること。
事業内容	応急手当普及活動、多種多様化する災害現場を想定した救急・救助訓練。			
事業開始から現在までの状況変化	平成21年度より南消防署となり、つくばエクスプレスの開通に伴い、管轄地域のビル、住宅及び交通量の急増により、各種災害の多様化や救急需要の増加などが予想される。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	普通救命講習修了者	107	135	148	人	↑↑↑
②	救急出動件数	1,454	1,466	1,543	件	↓↓↓	
③	救助出動件数	25	16	19	件	↓↓↓	
④	バイスタンダーCPR件数	16	16	13	件	↑↑↑	
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業の総コスト(a=b+c)	49,054,543	74,785,242	33,962,925	市内在住者及び在勤者等の普通救命講習会を行い、バイスタンダーCPR（発見者による心肺蘇生）件数の増加を目指す。一方、救急需要は年々増加傾向にあり、高齢者の搬送率が高まっている。			
事業費(b)(円)	999,543	953,242	1,002,925				
うち一般財源	999,543	953,242	1,002,925				
職員給与費(c)(円)	48,055,000	73,832,000	32,960,000				
人役・職員(人)	7.00	11.00	5.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	普通救命講習を開催し、市民へ救命処置の普及啓発を行うとともに、救急車の適正利用を広報する。	③取組における課題(Check)	救急業務は市民生活に深く定着し、病院前救急活動の担い手として、より一層の高度救命処置が求められる。一方救急需要は年々増加傾向にあり、救急車の適正利用が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	高度救命処置に必要な資機材の整備を図り、市民へ普通救命講習への参加を呼び掛ける。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	救急・救助用資機材を整備するとともに、市民参加の普通救命講習を開催し、救命率の向上に努める。また早めに医療機関での受診を促し、救急車の適正利用を周知する。